東方鈴奈庵
~Forbidden Scrollery.



東方鈴奈庵

~Forbidden Scrollery.

1

原作 ZUN

漫画 春河もえ


第一話 幻想の稀覯本


ガヤ
ガヤ


ドン
きゃっ


おおっと すまん
よそ見していたよ

東方鈴奈庵
~Forbidden Scrollery.

原作 ZUN　漫画 春河もえ

第一話 幻想の稀覯本





もくじ


あー…




なんだ阿求か


なあ


その本をどうするんだ？

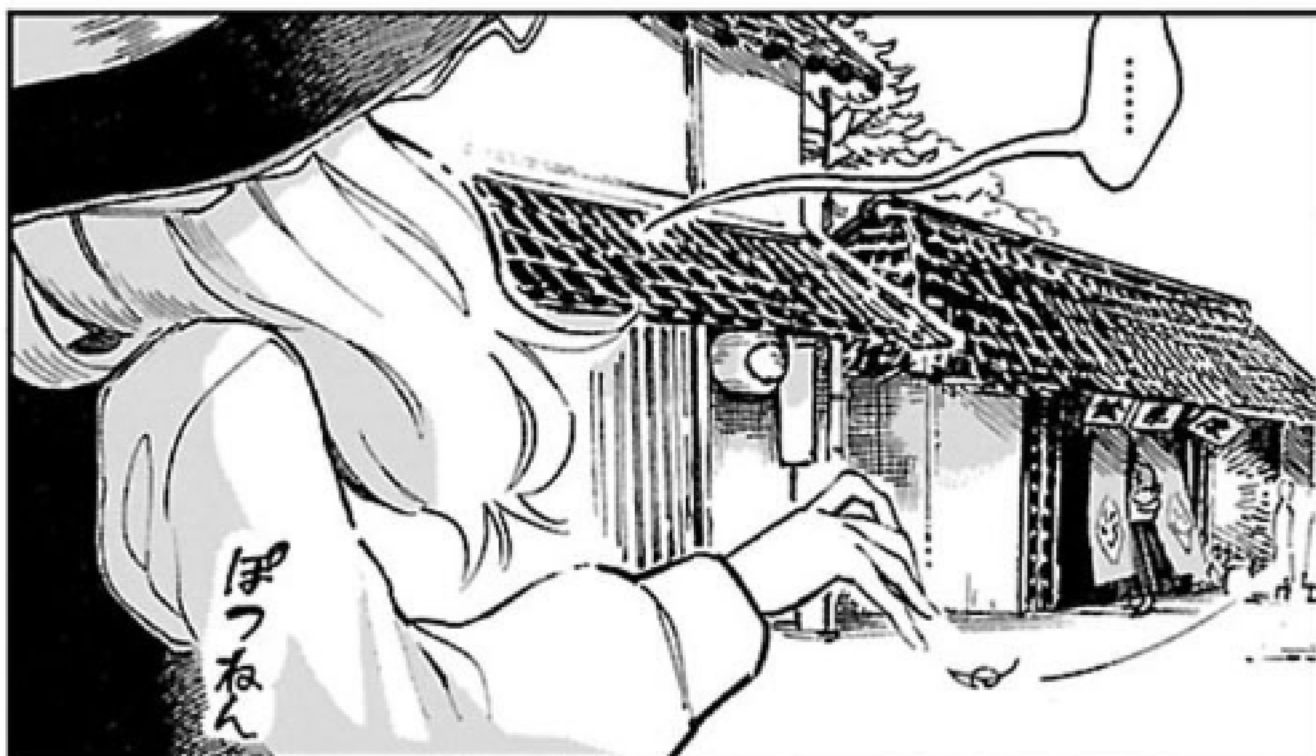

いらないならもらってやってもいいぜ？


すく
駄目ですよ 今返しに 行くところです


やっとひとつ 本を書き終えた ので
借りてた 資料ですわ


ふーん
そうか 資料か……
…


さっき 落とした その本だが な……


……
ぽつねん

あれは
妖魔本だ





チリン



いらっしゃいま…



なんだ 阿求かい



判読眼のビブロフィリア
本居 小鈴




人を見て「なんだ」って言われたのは
今日だけで二回目よ
九代目のサヴァン
稗田 阿求
カッ


ドサ
はい 借りてた本


大して参考にはならなかったわ
これで全部だっけ


まだいくつか借りているけど特殊なのはこれだけ
ありがとさん
一応中身を確認するからちょっと待っててね


パラ
借りたのは良かったけど
ほぼ全て解読不能だったわ


全部暗記しちゃったけど

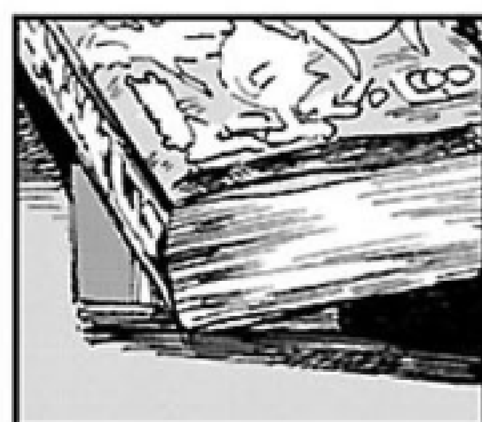

よくそんなの貸し出しているわね

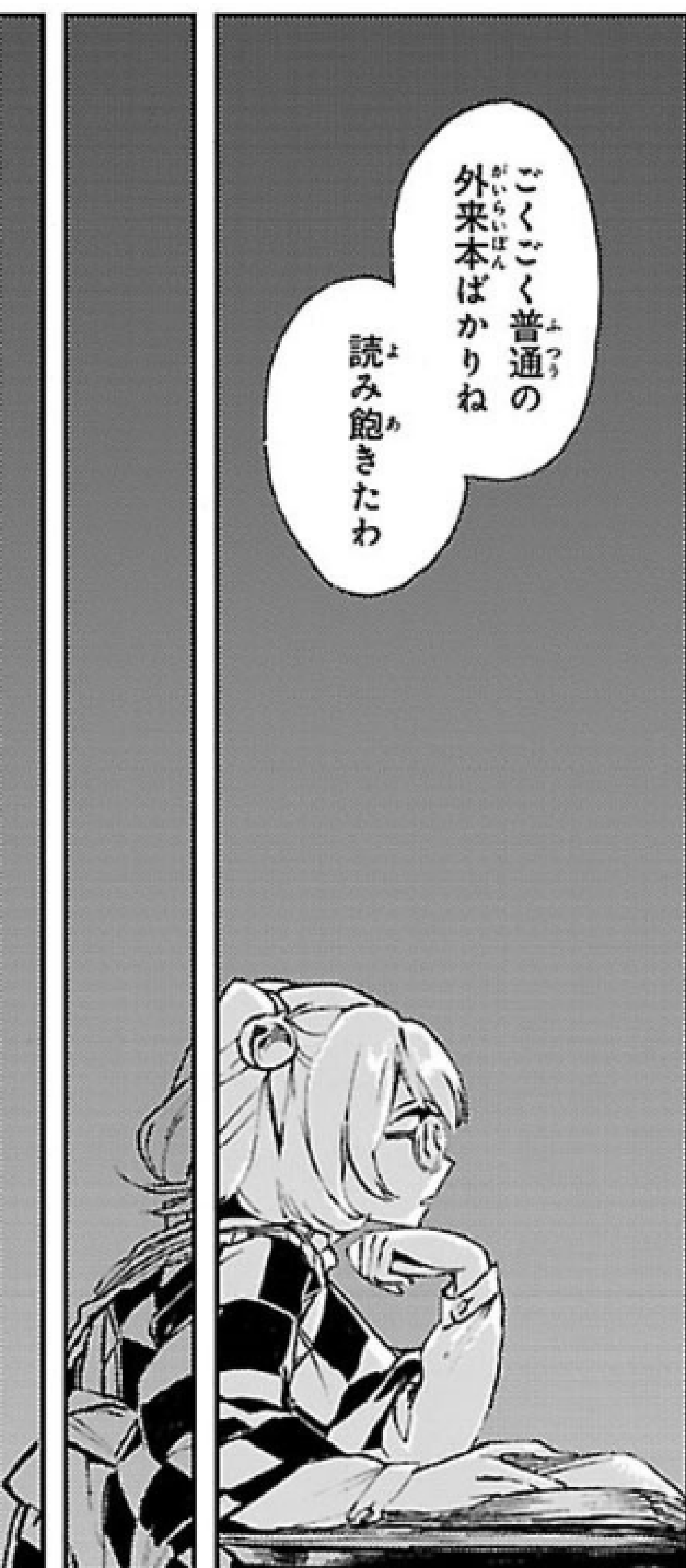

妖魔本が店にあることを知っているのは一部の客だけよ


それ以外の本は――








ごくごく普通の外来本ばかりね
読み飽きたわ









妖魔本って知っているか？

クル

極めて普通のマジシャン
霧雨 魔理沙



何それ

楽園の素敵なシャーマン

博麗 霊夢









里で見かけたのね？

でも まあ

どっかで拾ってきたんじゃない？

珍しいものだ

そんなに珍しいものでもないんでしょ？

※稀覯本中の稀覯本だぜ!?

でも 本来人間には不要なものだからな

ちょっと気になって

？

※稀覯本…数が少ないなどの理由から、手に入りにくい本のこと。

妖魔本ってのにもいくつか種類があるんだが

ただの妖怪が書いた古典から

妖怪が人間宛に書いた本

私みたいな魔法使い向けの魔導書まである

でも一番多いのが

妖怪の存在を記録した本

妖怪を記録した本？

それってつまり…


そう
存在を否定された妖怪たちの最後の希望さ

封印された妖怪たちが眠りから目を覚ますのを待っている書物
それが妖魔本なんだ
そんな本人間の里にあるなんておかしいだろ？

忘れ去られた妖怪を復活させようとしている人間がいるってことかしら

…
単純にそうとも言い切れないが……

……

もしそうだとしたら…
危険ね……監視しないと


で
どこで妖魔本を
見たの？
貸本屋の
鈴奈庵だ
知っている
だろう？
ああ
小鈴んちの
お店ね


あの娘も
変わった奴だから
なぁ
ちょっと注意して
見守るようにするわ
鈴奈庵











――鈴奈庵

人間の里にある貸本屋である

貸本屋といっても本を貸し出すだけではなく販売はもちろんのこと小規模ながら印刷製本なども行なっている

稗田阿求が書いた『幻想郷縁起』もここ鈴奈庵で印刷製本されたものである

しかし取り扱っているほとんどの本は外から来た〝外来本〟と呼ばれるものだ

トン
トン
トン…

外来本は
たまたま流れ着くのを
待たないと
入荷できないのよね












……
……




KOSUZU

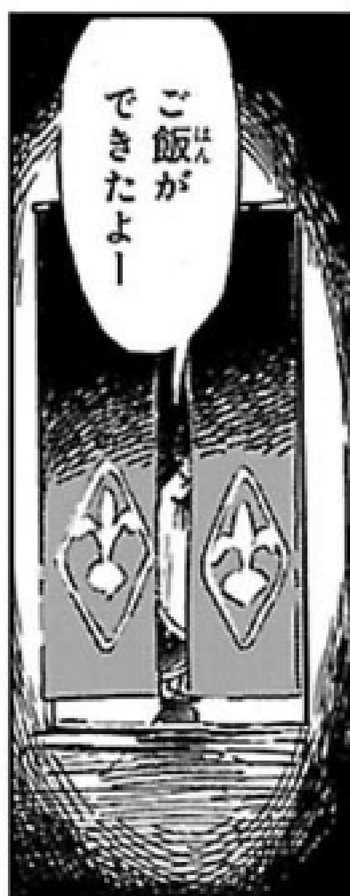


















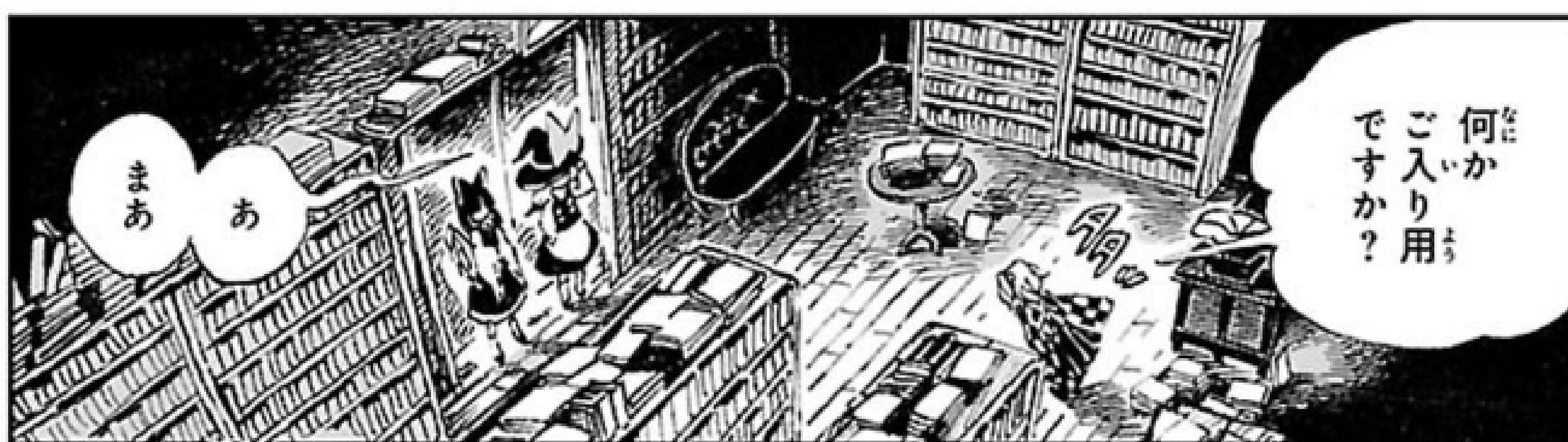
ガラ！

KOSUZU

鈴奈庵


いらっしゃい
ま……
あら


魔理沙さんと…
霊夢さんまで
……


何か
ご入り用
ですか？
あ
まあ


入り用と
いうか
何と
いうか


この店に
妖魔本があるって
聞いたんだけど――


ええ！
ございます
とも！







それから
幻想郷には珍しい
海の怪異が記された本

そっちは
大魔法使いが
弟子のために残した
魔導書

さらに
これがお勧めの
『私家版百鬼夜行
絵巻』！








…
あ でも家の人には内緒ね
店の売上勝手に使っちゃってるし…


ずらーり
何だこりゃ
何を書いてあるんだか全くわからん


あ その本は古代天狗語で書かれているわ


今の天狗にも読めないみたい
誰も読めない本を店に置いてどうするのよ
そんなもん誰が借りるのよ


あら
誰も読めないなんて言ってないでしょ？


何だと？


KOSUZU
ス
ほら


血針草
血を吸い上げる草で針の山に多く見られる多年草〟だって
これは珍しい天狗向けの地獄植物の解説本ね


何で読めるの？


KOSUZU
最近目覚めたのよ


こういう力に


そ そう
まあ幻想郷にはそんな奴らばかりだけど……


でも妖怪化した本だとか妖怪が封じ込められている本とか 危なくないの？

いつ出てきて人を喰うかわからないでしょ？







霊夢さんに
お願いしますね！

妖怪退治!!




お願いしますって言われても……
頼りにしてますから

にっこり
KOSUZU


やれやれ

!

お
この本は!


ネクロノミコン写本じゃないか
あら それを手に取るなんてお目が高い

しかも第一漢字写本ですよ
文字は漢字ですが筆写者 言語共に不明です

すげー
借りていくぜ
死ぬまでな
それは高いですよ？

小鈴ちゃん

お金取るのかよ
当たり前でしょ？







――こうして

鈴奈庵に置かれた奇妙な本の存在が明らかとなった

これら妖魔本は文字を読む手段をもたない者にとってはただの飾りでしかない

しかし鈴奈庵の娘本居小鈴はそれを読む力を身につけていた

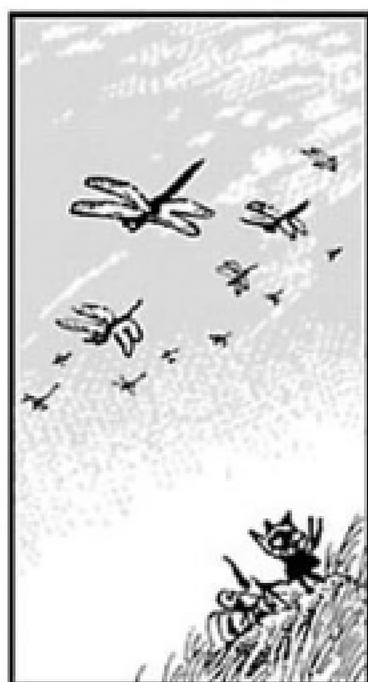
幻想郷に奇妙な本を巡る物語が始まることになる――のか？



第一話 終

東方鈴奈庵
~Forbidden Scrollery.


第二話 妖怪退治の師走 前編
KOSUZU

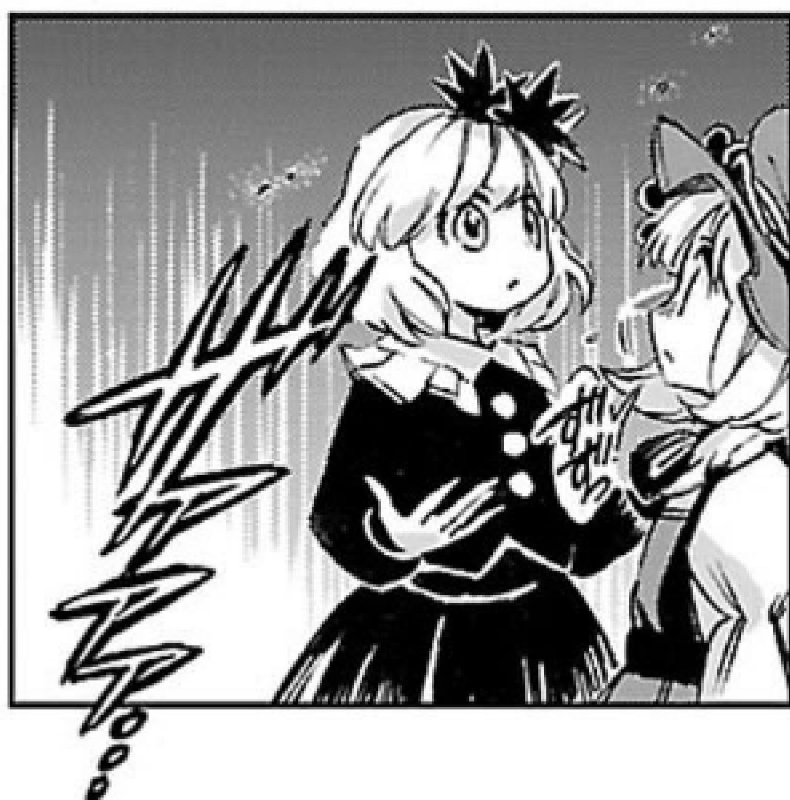







さやさやさや…



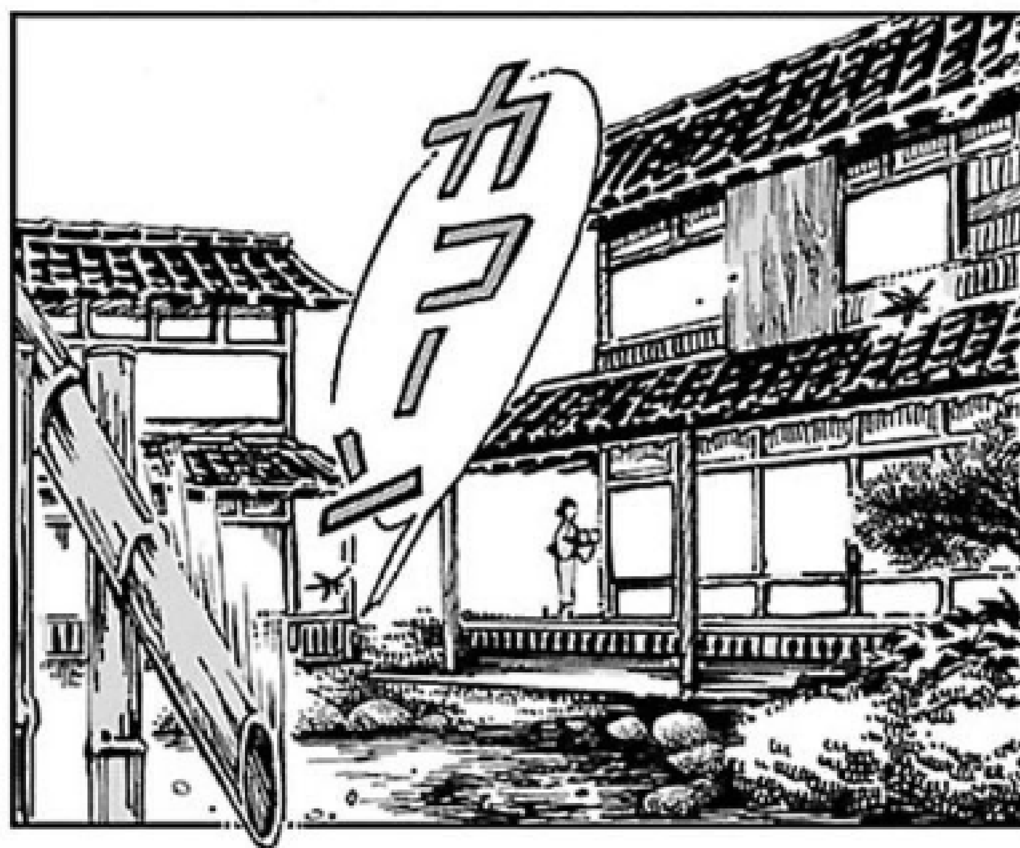



しゅん


カサ…

ヒョオォォ









相変わらず仰々しいお屋敷ね

ふぅ

そう？

古くさいだけよ











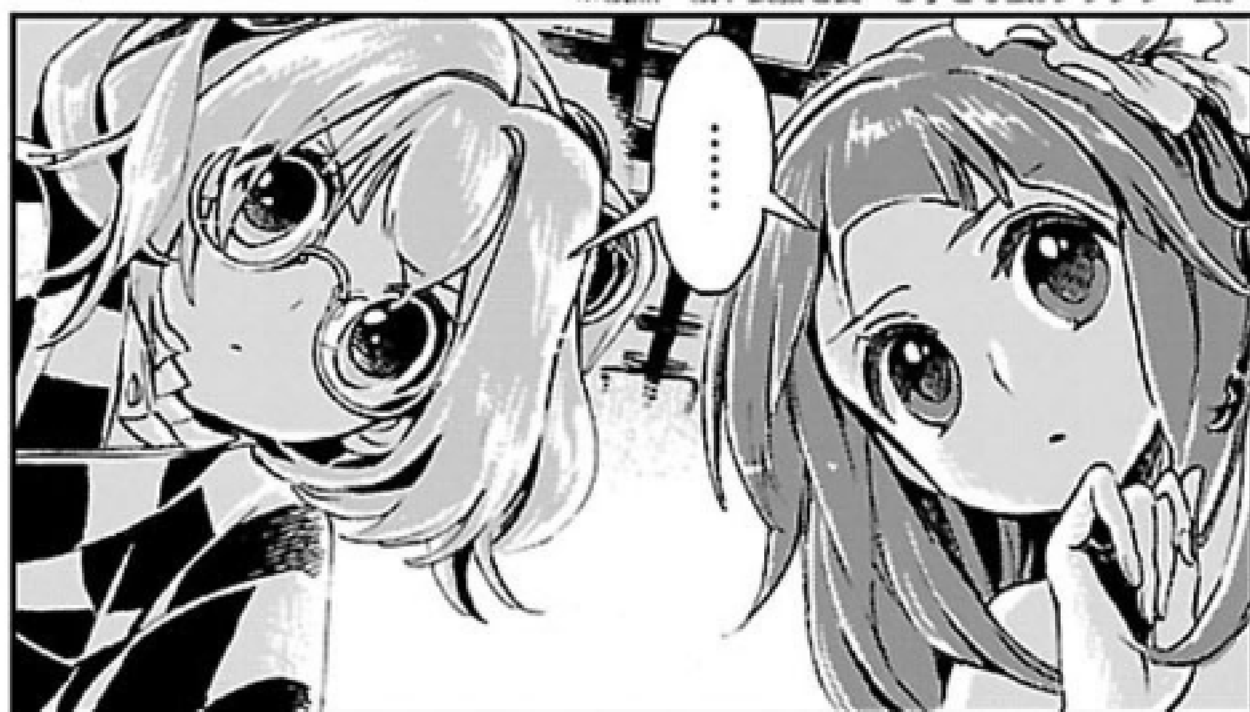






※紙魚…紙や衣服を食べる小さな虫。ブックワーム。



















それだけだとあまり危機的には感じないけど

本を取り扱ううちとしては致命的な害虫だわ！

パチ
パチ
パチ
パチ
パチ









え？
じゃあ何のための焚き火なんだ？
何のためって……










それに
この時期は
乾燥するから
火事が多くてな
原因の多くが
焚き火の不始末
なんだ
堆肥ビジネスは
防火にも繋がる


ザザザッ


ジジジ…
確かに
消したと思っても
結構 火は
残っているわね


ところで
その堆肥ビジネスって
どこでやってるの？


狸たちが始めた
らしいから
森にでも行けば
見つかるぜ


狸？


それって
ほんとに
堆肥に
使うの
かしら？
はは


は…


？
……


モクモクモク


……あれは？


おい 焚き火にしては大きすぎるな
里で火事じゃないか!?


見に行ってみよう！







グヷ



この辺だったと思うけど……







え？

か 火事…？ この辺で？

そうだ



小鈴ちゃん何か見なかった？

えーと

んーと

火事騒ぎはなかったけど…

もしかしたらアレかな？

アレ？







…

ちょっと
特別な煙
だったからね


トン


おかしいと思わないか？

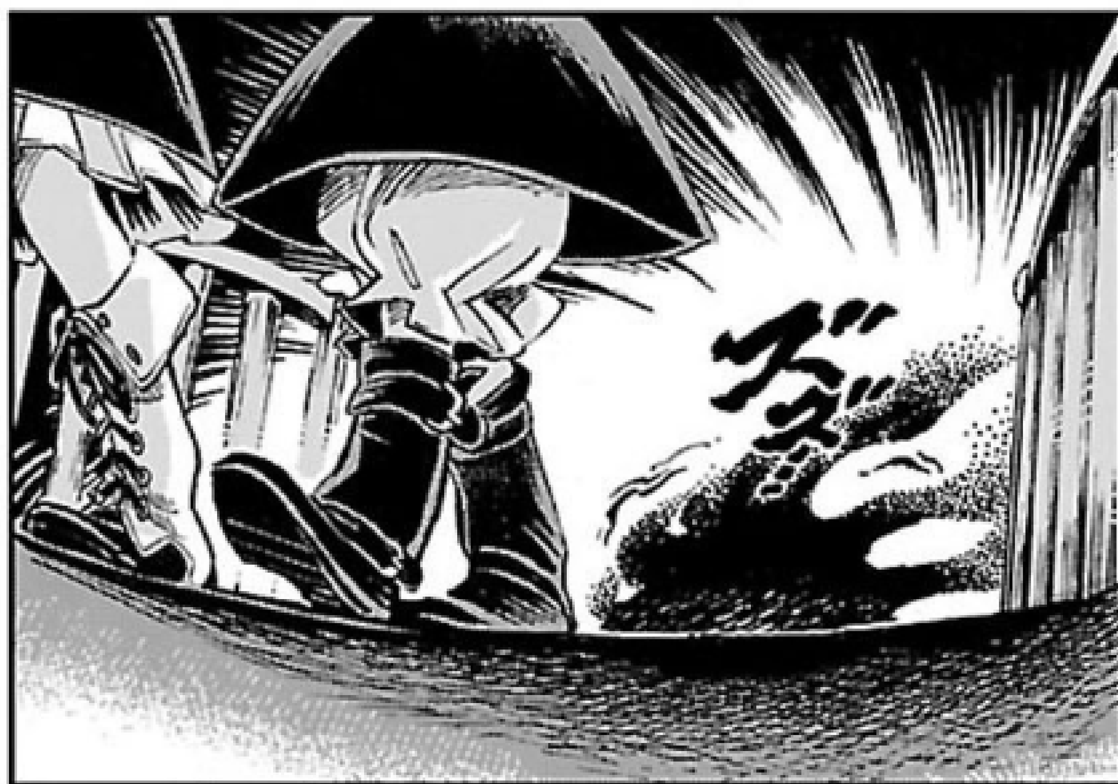

神社から見たときは確かに尋常じゃない煙の量だったぜ？


それなのに…
……


みんな
火事どころか
焚き火ひとつ
見ていない
……か


まあ
被害はなさそう
だから
放っておこうかな


ムクリ


ズズ…


ムク
ムク
ムク


ビュオオオ




ゾゾゾゾ
ゾゾゾ…


ゾ
ゾゾゾ




ブブブブブ

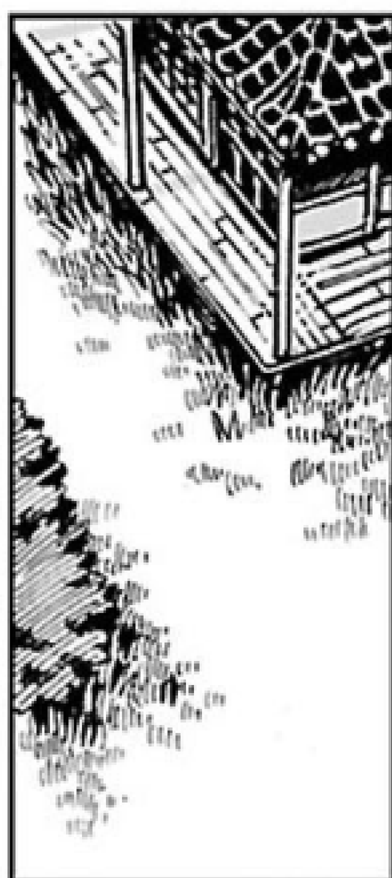



ん？
どうした？


何かあったか？


いや


気のせいかな…



いただきます

あーん

おい!


大丈夫か!?
水を……
ドンドン

ガラララララ

今助けるぞ霊夢!!

やっぱりか
わかった

バッシャーーン

……
ポタ

これで消えたか?
キッ


〜〜〜〜〜っ


どげしっ


?


ギュ
いやぁ


いつものように この辺をふらついてたんだが
東の方に大きな煙が上がっているのを見て――


♪
ギュア

モクモクモク

あの辺りは神社じゃないか!

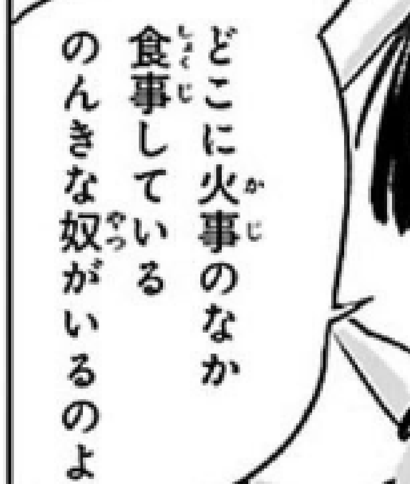

どう見ても尋常な量の煙じゃない……
マリサ～

ぐい
だから焚き火は

気をつけろって言ったんだ!
ゴオオッ

——その後は霊夢が水を欲したから
〝やっぱり火事だ〟と思って
にへら


〝思って〟じゃないわよ


どこに火事のなか食事しているのんきな奴がいるのよ



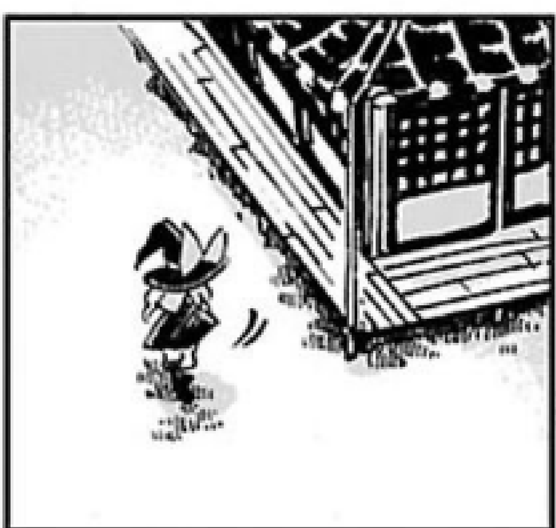

まあそんな気もしたけど


たっはーーっ
念のため水を掛けてみたくて








?



どこにも火が出た形跡なんてないわよ

おっかしーなぁ
確かに見たんだよ
すごい量の煙をさぁ

家にいても煙の匂いなんてしなかったし
そもそも今日は焚き火をしてないし

見たんだけどなぁ

トトト





第二話 続く

東方鈴奈庵
~Forbidden Scrollery.


第三話 妖怪退治の師走 後編

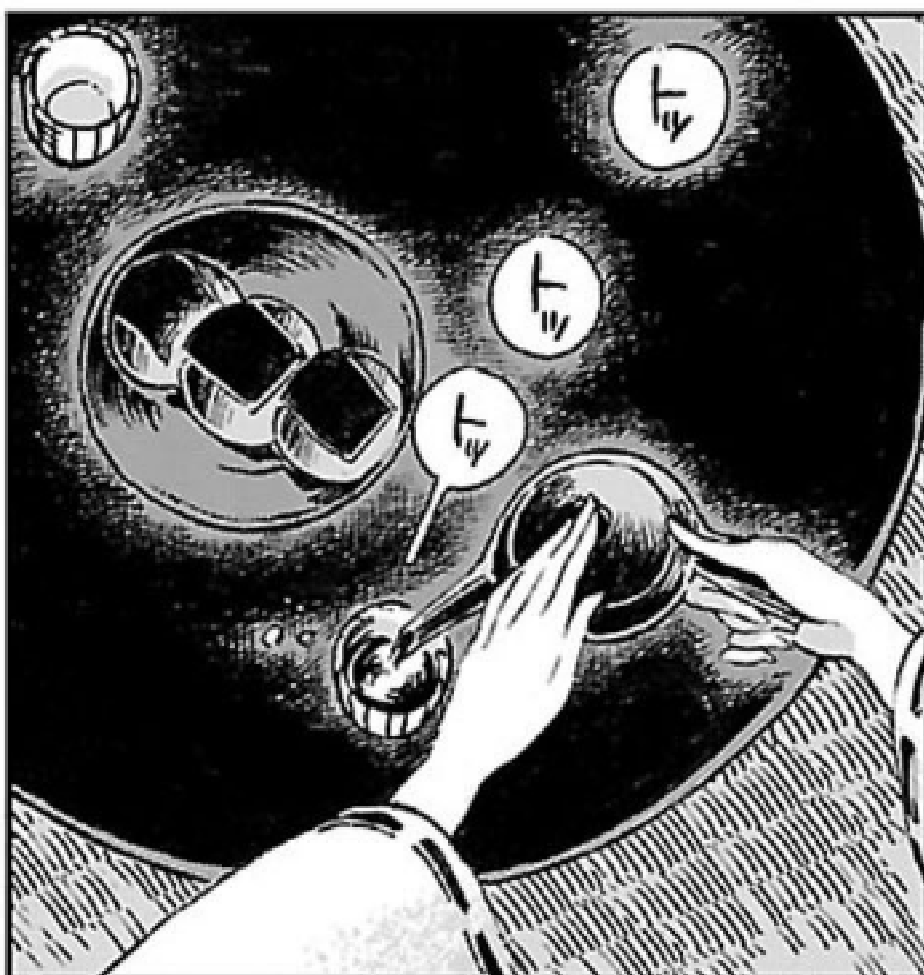
小鈴（こすず）ちゃん……？

…あら


珍しいわね
あなたも神社が火事だって言って私に水を掛けるつもり？


え？
いえ あの
神社が火事……なんですか？


？


トッ
トッ
トッ


ふーっ
…それにしても


神社に来るような
信心深い子じゃ
なかったのに
心を
入れ替えたの
かしら


と言っても


手も合わせないで
帰っていったがな
お賽銭も入れてないし
コポポポ


いいのよ
徐々に
神を敬う心を
身につけていけば
ついでにお賽銭も
ずずっ


……なあ
パリ


さっきの
あいつ

変じゃ
なかったか?

あん?
煙のことばっかり
聞いていってさ

そりゃ
あんただって
同じような
もんだったわよ?
だけどさ

火事だとは
思って
いなかった
みたいだし…

そうね
ちょっと前の
ぼや騒ぎも
鈴奈庵の
近くだったし…

……


あ
そうそう
用事を思い出したの
今日は悪いけどこの辺で…


奇遇だな
私も用事の途中だった
神社が火事っぽかったから寄ったんだった

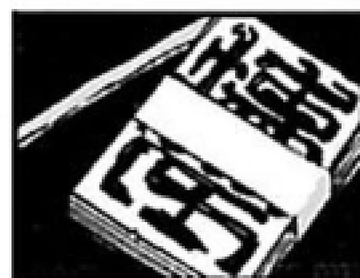

パキッ


タタタ


…さてと


ガラ











これは…

妖怪退治の匂いがするわ!

ペラ

ペラ


うーん


やっぱり本には戻っていないかぁ
ギッ


カラ
いらっしゃいませ


いたか
ちょっと聞きたいことがあってな


魔理沙さん!?
あれ? 眼鏡かけてる?

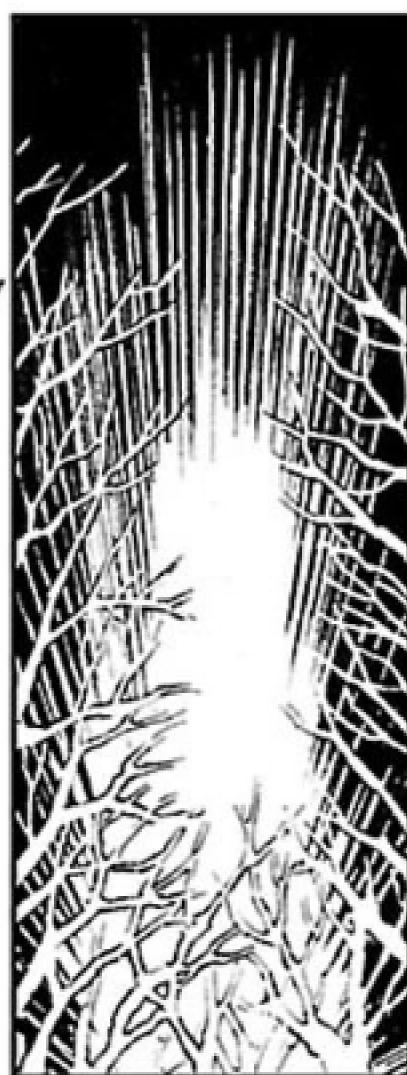

さっきまで神社にいたのに


そのことについてだがな
すっ

お前は煙の正体を知っているな？








ザザザザザ


ピタ


尻尾をつかんだわ

覚悟(かくご)しなさい！









煙々羅(えんえんら)!!!

煙々羅(えんえんら)!?

って何だ そりゃ

この本は『今昔百鬼拾遺 稗田写本』といって

拾遺

特別な仕掛けがある本なの

そいつが書かれたページが虫に喰われたって……

そう

ただの画集じゃなくて

パラ

妖怪が封印されているのね

それで煙々羅のページだけなくなっているので

不安に思って煙を追いかけていた と

そうそうそうなのよ

コクコク

もしかしたら煙々羅の封印が解けて暴れまわっているのかと…

火のないところに立つ煙……







なんだ

そういうことならそう言ってくれれば良かったのに

この妖怪退治の専門家である私に！

霊夢じゃなくて!!

ドン


やったあ
はなたかだか
それで？
煙々羅とやらは
次はどこに出るんだ？


煙々羅は
火事を起こすのに
失敗すると
その時
近くにいた
別の人に移るの


なるほど
つまり
神社では
失敗したので
次は……


私の家!?
そうそう
きっと
そう！


こうしちゃ
おられん


邪魔
したな！
ピュー
急げ


?!

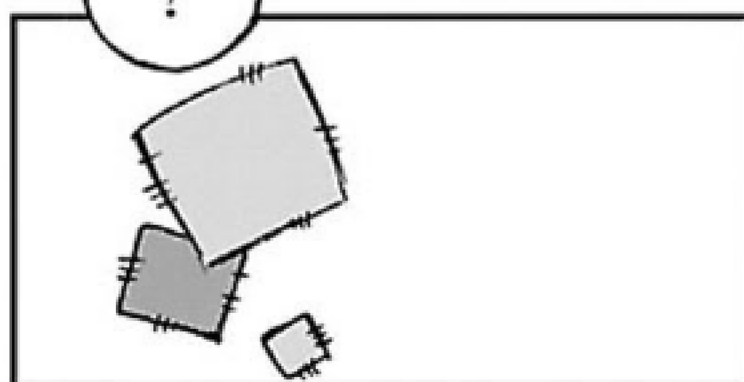

なんだ
こんなところにいたの？


霊夢か
どけよ！
一刻を争うんだよ


その心配は無用だわ


あんたに憑いた妖怪は退治してきたもん


へ？




……なんだよ


はぁ～
煙々羅の仕業って知ってたなら教えろよ
ぐったり


私も調べたのよ
煙の騒動が妖怪の仕業だってことは勘でわかったけど
具体的に正体を掴むのには苦労したわ


そうしたら近くの人間に移るってことがわかったから
魔理沙の家まで行ったのよ


いやぁ助かったぜ
ストン
さすが元祖妖怪退治の専門家だ
ササッ
餅は餅屋だな


……で私が言いたいのはそんなことじゃなくて


どういうことか
説明してくれる？
ドキーン


……という
わけでして
ふーん


煙々羅を
封印していた
ページが
虫に食べられて
……
なるほど
そんなことも
あるのね
あれ？
眼鏡なんて
掛けてたっけ？


パッ
やっぱり
頼りになるのは
霊夢さんですね！
自分で
正体を見破って
退治までして
くださるなんて


チッ


おっと
それで
煙々羅のページは
戻ったのか？


えーっと
パラララ


変化なし


!!?




次の標的は
再び神社しか考えられないです!


なんだよ
退治できてないじゃん


煙相手だと倒せているかよくわからないんだもん
手応えないし



煙に気がつかないフリをして家に入り
神木なりお札なり護摩なり 何か妖怪の嫌うものを焚けばいいんです
つまり聖なる煙で浄化するだけです



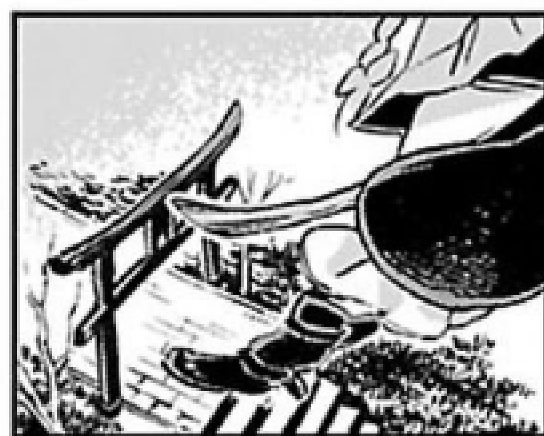






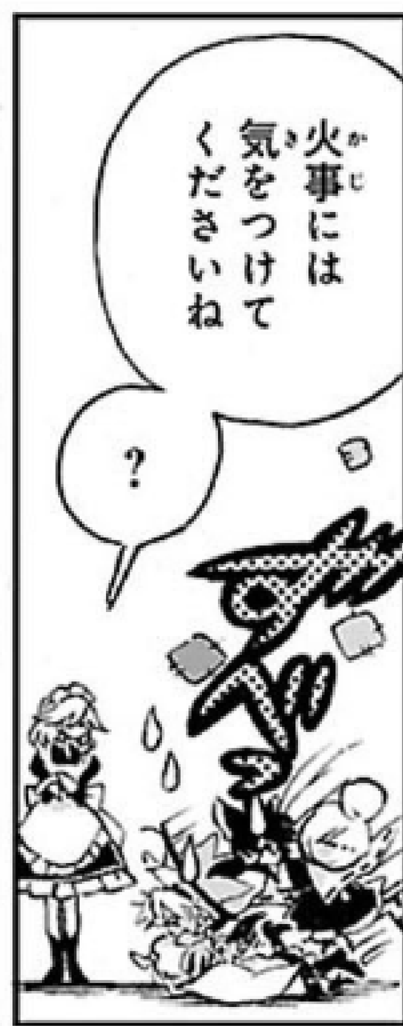







あら？
トン


煙が上がっていたので火の元の確認だけしておきました
ポン
ポン
吸血鬼のメイド
十六夜咲夜


火事には気をつけてくださいね
？


急げっ
え？え？
何？
説明は後！


おいおい
標的が紅魔館じゃあ次は誰のところに移るかわからんぞ！

――それから

煙々羅の神出鬼没っぷりに翻弄され なかなか退治できなかった

昼間は目撃者が多すぎて標的が定まらず

退治は夜行なうことになった

数日間寝ずに監視し里の蕎麦屋に移ったのを確認して

夜に忍び込んで ついに退治できたのである






いらっしゃいま……
うわぁ


小鈴ちゃん！
例の本は？


はい！
えーっと えーっと


あった
戻っているわ
封印成功よ！


にっ

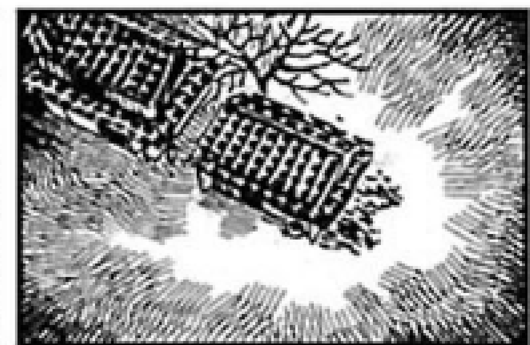



チチチ…
チュン
チュン


は
これが本当の師走って感じね
でも倒せて良かったわ
ああ

思わぬ報酬ももらえたしな
今度からお二人だけ本代を割引するわ

しかし……
字喰い…虫？

どうしたの？
うーん
なんでもないぜ


ピタ

ふう
危ない危ない
KOSUZU

ストン

煙々羅がこんなに危険な妖怪だとは思わなかったわ
OSUZ





そう 煙々羅は字喰い虫に喰われて復活したわけではなかった

字喰い虫を退治するために小鈴が復活させたのだ

字喰い虫は妖虫のため普通の煙では追い出せないから妖怪の煙を というわけだ

しかし呼びだしてみたもののちゃんと再封印できず慌てて煙々羅の資料を漁ったというから恐ろしい

そもそも
字喰い虫は
絵を食べない

字喰い虫は
退治できたし

煙々羅も
再封印
できたし

まあ　でも

霊夢さんたちも
喜んでいた
みたいだし

お務め明けの一杯

良しとするか！

パタン

第三話　終

東方鈴奈庵
~Forbidden Scrollery.

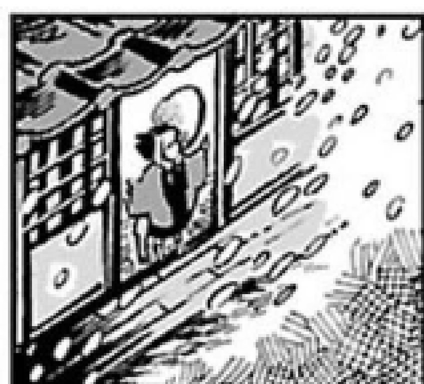

第四話 私家版 百鬼夜行絵巻 前編
KOSUZU


ヒュウゥゥゥ




サァァァァァァァ





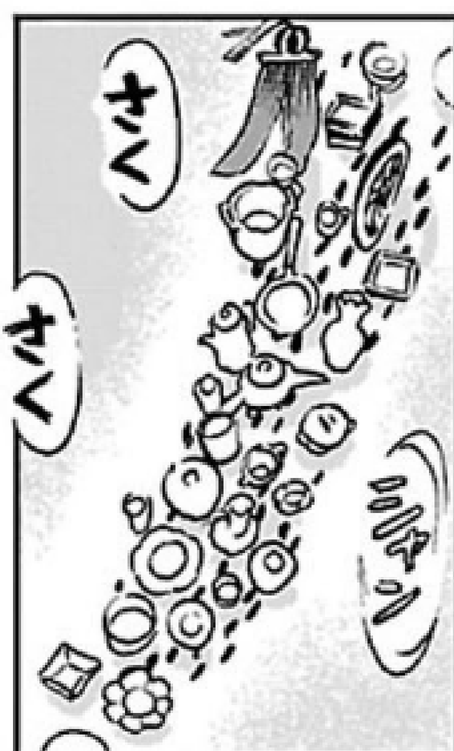



こん
こん
こん
こん



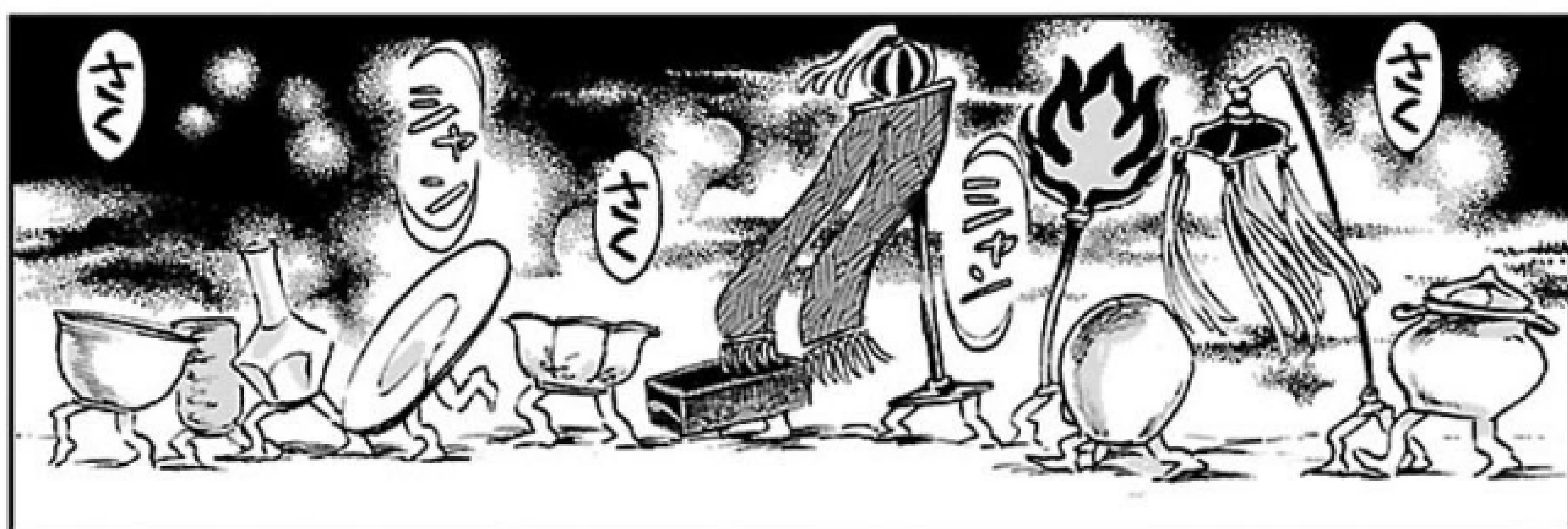

シャン
シャン


シャン
シャン


さく
さく
シャン


シャン
さく
シャン
さく


シャン
シャン


さく
シャン
さく
シャン
さく
さく

シャン
シャン
シャン
さく
さく
さく


ざっ
ざっ


ざっ


カラ


ざっ

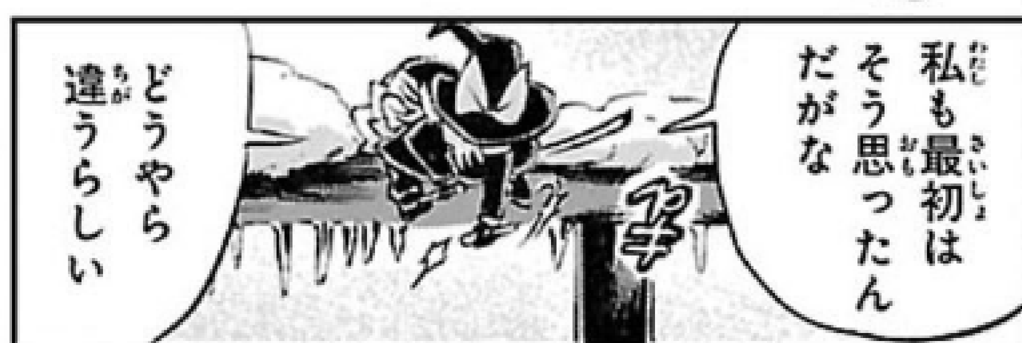
ふ
狐火（きつねび）？
ザク

ああ

パキッ

目撃情報が絶えないぜ








列をなして……って
確かに普通じゃないわね


きっと
こんな
それに色も赤いそうだ
鬼火は通常青いだろ？
例外もあるけど…


狐火だとすると…
不穏ね


ああ


不穏だな




カチャ
カチャ


キュ

チリン
チリン

いらっしゃいませ
パッ

カラ
邪魔(じゃま)するぞい

にっ

ちょいと いいかね










お気に召しましたか？


『百鬼夜行絵巻現代解説本』


印刷が綺麗だな


これは写真に活字……か？


ええ
そうだと思います
ふむ


幻想郷にもこんな進んだ技術があったのか
？
いえその本は外来本ですので


外来本？
外の世界の本のことです
ですからその本は唯一無二なんです
…同じような本はウチでは作れません

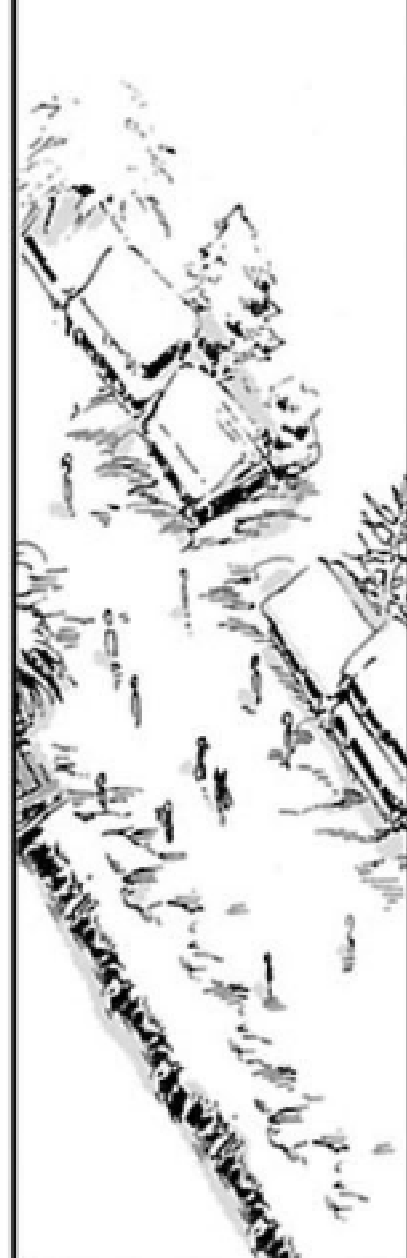

ふーん
そうかい
そうかい
それにしても
懐かしいのう


？
……ところで


幻想郷で
書かれた本は
ないのかい？


本物の


『百鬼夜行絵巻』の
ような









ただの鬼火の類なら
さほど怖くはないけど

狐火だとすると
妖怪狐が何かを
企んでいる証拠

早めに調査して
尻尾を掴まないと
……

カララ…


鈴奈庵
ザッ




……？


にこっ
どうも


え
あ
どうも……
誰だっけ？


……そこの店は黒じゃよ




え？
今なんて!?


狐火のことを
調べてるんじゃろ？
だから


あの店が黒じゃ


え？
え？
な
何を
言ってるの？


というか
誰？
クルッ
おっと



ドロロロロロロン

あ
あんたは
化け狸の…!!

捕らぬ狸のディスガイザー
二ツ岩マミゾウ


クルクル
ガヤ
ガヤ…


スタッ
里では人間のフリをしているんで
このすがたで失礼するぞい


ほっ
?


ってさっきなんて言ったっけ?
狐火の噂を聞いて調べてたんじゃろ?


なら あの店に注意するんじゃな


……鈴奈庵に?










第四話◐続く

第五話 私家版 百鬼夜行絵巻 後編




え？
さっきの客が何の本に興味をもっていたかって？


そう
知りたいんん
だけど


いやぁ
さすがにお客様の
プライバシーな
ことはちょっと……
そそくさ〜


むんず




……


なんか
本屋に関係ない物が
あちこちにあるね
ひょい
あ
それね

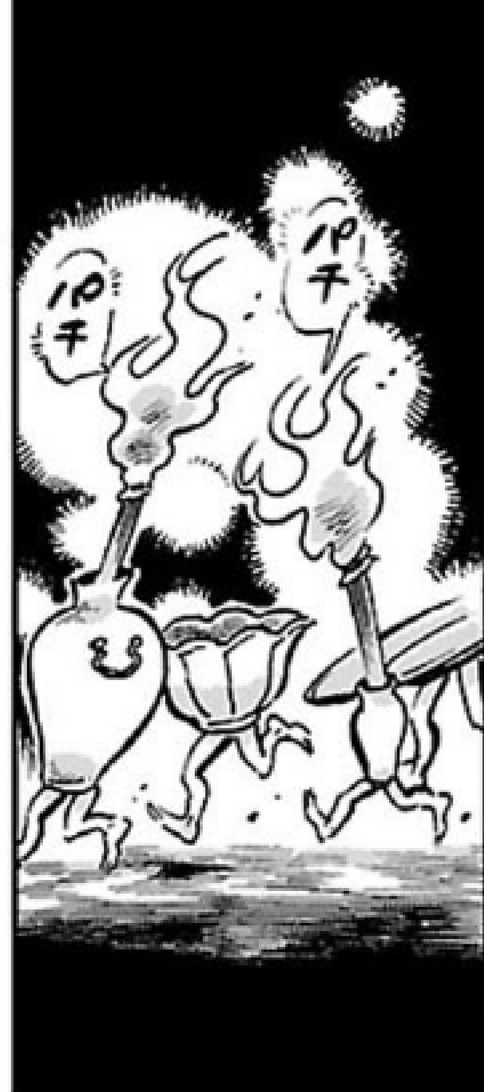

いつの間にか
増えてるの



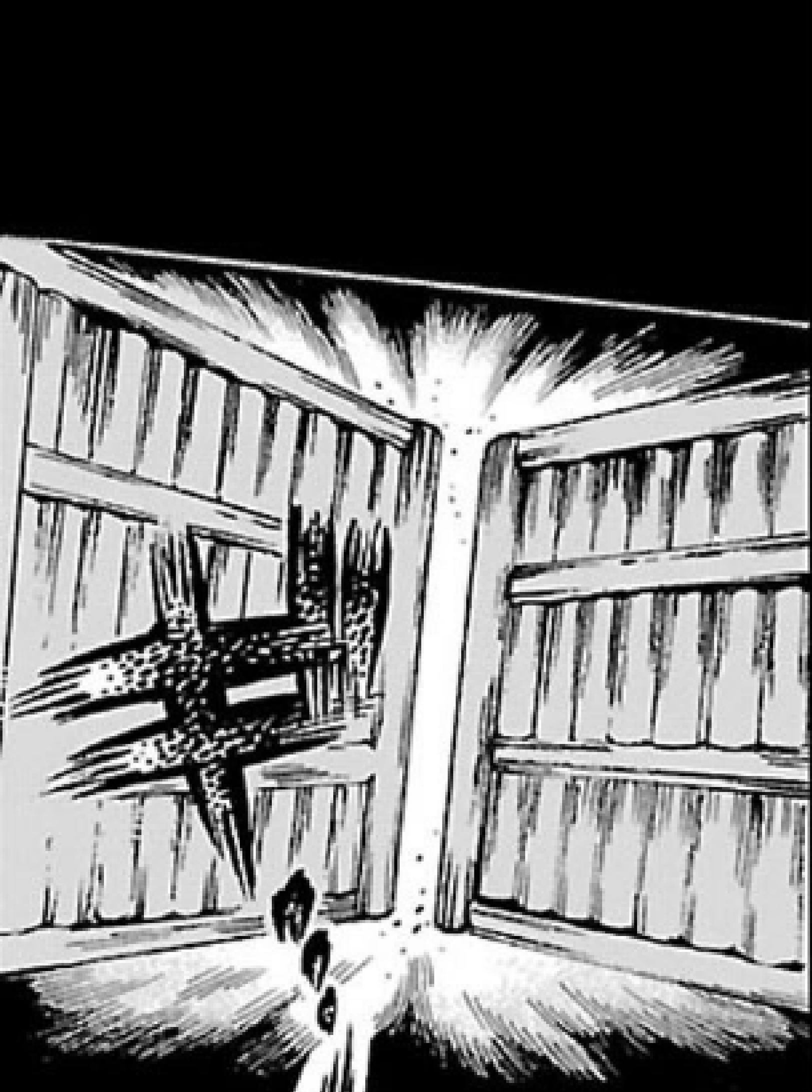


夜になるたびに




パチ
パチ


シャン
シャン
ぞろ
ぞろ






さく
さく
さく


ぴょん
ぴょん



ひょい

なんだよ
こりゃ

付喪神か？

しかも赤ん坊だ







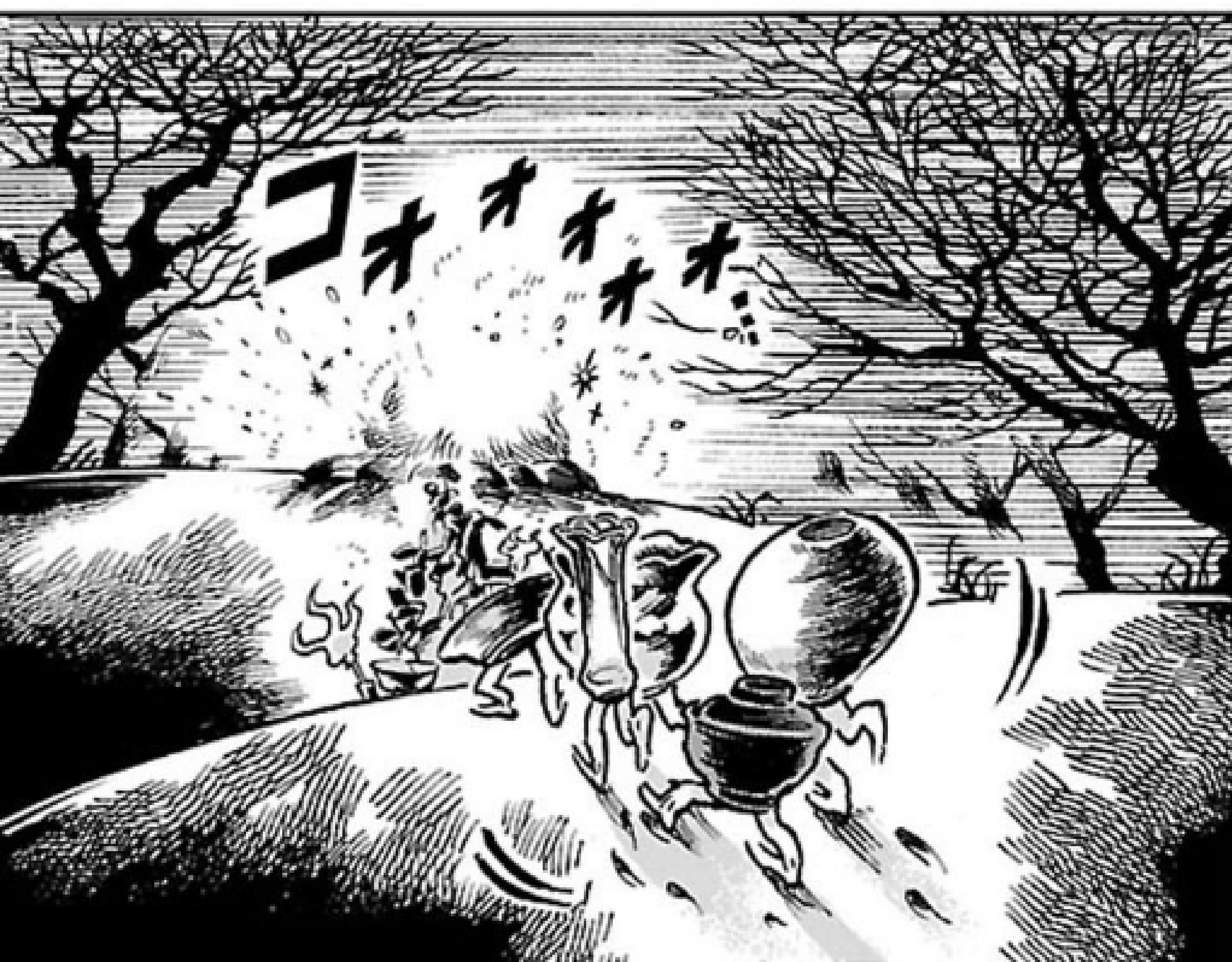

それに…


この付喪神は
生まれたばかりの
ようだが
なぜ統率が
取れて
いるんだ？




ニャン
ニャン
ススッ




コォォォォ…


ニャン
ニャン

ドン♪チャン







なんだあ？
化け狸の宴じゃあないか

付喪神はこれを目指していたのか……？


ピカリ！


パッ
わらわら
おい…

しまっ…

カラララン

あーぁ
つんつん
？

ぽかん







ドロロン

付喪神が戻っちゃったじゃないか

お
お前は!?

焚き火に化けていたのか?

なんだい
こんな真夜中に
人間風情が









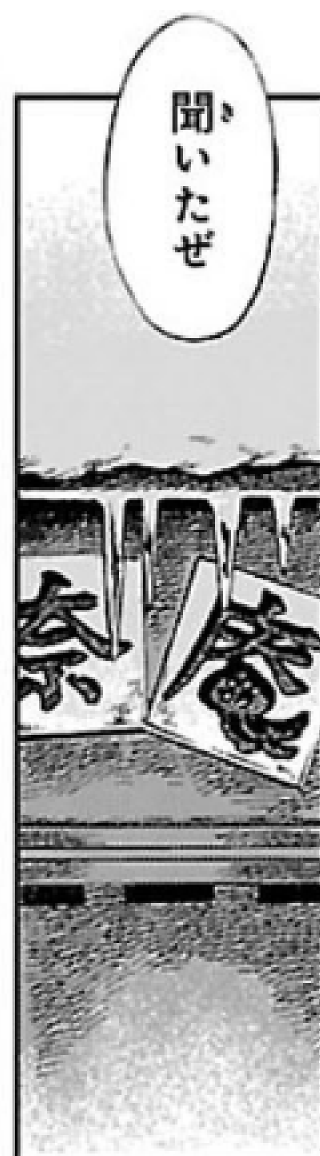





何を…って
そりゃ
部下づくりじゃよ
狸の宴会に
参加させることで
付喪神の妖力を高めて
一流の妖怪に育てる
付喪神と
化け狸の相性は
抜群なんじゃ


なんだ
狐火騒ぎは
化け狸の
青田買い
だったのか
ぐびっ
狐火ならぬ
狸火だな


ん？
いや それは
誤解じゃ
儂は哀れな
付喪神の赤ん坊を
拾ってあげただけで
付喪神を
生んでいるのは
儂じゃあないぞ
あー？


聞いたぜ


お前のところに
食器とか
集まって来るん
だってな
夜な夜な


そ
そうですけど


ちょっと
調べさせて
もらうよ?


ちょっと
ちょっと!
無視
ぽい
ぽい
きっと
百鬼夜行に関する
ものだと思うわ


わな
わな
UZU
ビリッ


うちの本を
乱暴に
扱うな!
ビクッ


……
あっけ


ゴホン！
とりあえず何が起きているのか説明してください
それまでは勝手に触らないで


没収
あぁっ


ふくっ




なるほどわかりました
うちに集まっている食器類は
『百鬼夜行絵巻』に出てくるような付喪神じゃないかと


そうだ
でもなんでうちに集まってきたの……？


それを調べたいの
いいかしら？


……いいですよ
!!


でも乱暴に扱わないでくださいいね？
こっくり


…へー
パラ
ミカンは多少の傷がある物の方が甘くて美味しいんだってさ
犯人は…まさか探偵の助手だって⁉
……


ふう
……何を調べているやら
あ
そうだ
はた
こんなことしている場合じゃないわ！
と言ってもなぁ……


そう言えば…昨日マミゾ…じゃなくてなんか眼鏡の女の人が来てたでしょ？
やっぱり教えてくれない？何の本に興味をもっていたのか
……


パラ







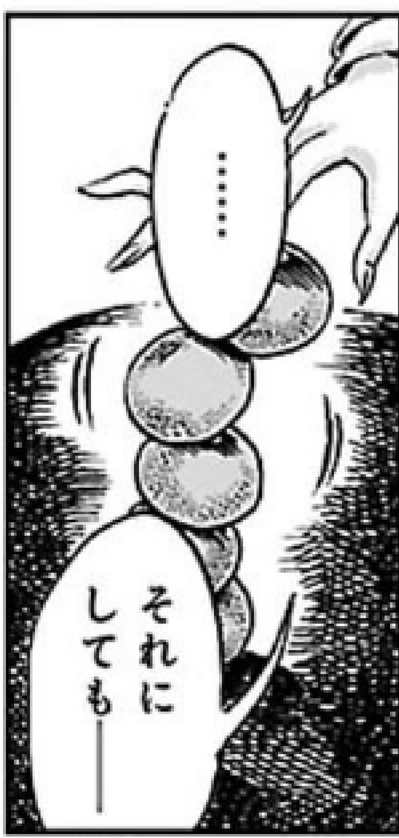

昨日のお客は
これを驚きの顔で
凝視していたわ
ぞく…
な 何だよ
これ
禍々しいな


『私家版
百鬼夜行絵巻
最終章補遺』
有名な
『百鬼夜行絵巻』には
続きがあったらしく
それがこれ
最近見つかった
掘り出し物よ


これは
付喪神に
関係ないかなぁ
いやいや
どう考えても
これが
原因でしょ……
妖魔本に封じられた
妖気が伝わってくるわ
え!!?
この子は
本気なの
かなぁ


あれから小鈴のもとに食器類が集まることはないようだぜ
あーん♪
あの子も言いつけを守っているみたいね
あの絵巻は決して開けないこと売らないこと


ポオポオポ
妖怪に悪用されるとまずいから本当は処分したかったのにな
仕方ないね


……
それにしても——


は～
高かったなあの本


とてもじゃないけど手が出せん


やれやれ
この『百鬼夜行絵巻』が付喪神を生んでいたなんて……


確かにビンビンの妖気にゾクゾクするけど


チリン
チリン
ぱっ


あら
いらっしゃいませ
…

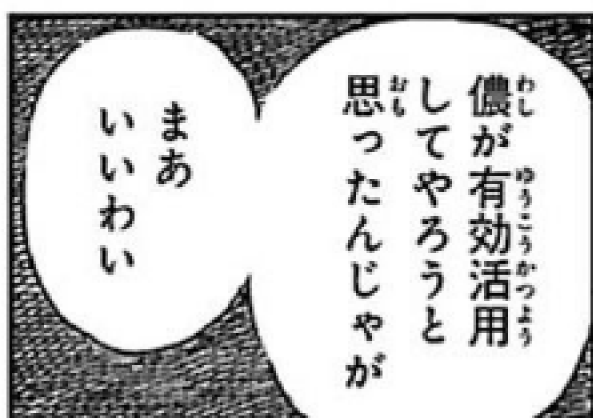

例の絵巻は誰にも売ってないかい？
え？
……ええ


儂が買おうじゃないか
用意してきたぞいお金
葉っぱのお金じゃがも
あいにく『百鬼夜行絵巻』は売らないことになりまして……
あー


あ
そう？
がっかり…


そりゃ残念じゃ…
誰かにそう言われたかい？
え？
あはは…
う〜ん
まぁその何て言うか




儂が有効活用してやろうと思ったんじゃが
まあいいわい


…その絵巻を使うのは
月に一回くらいにするが良い
いつか恐ろしい妖怪も呼び寄せてしまうぞい


な
何の話かしら？

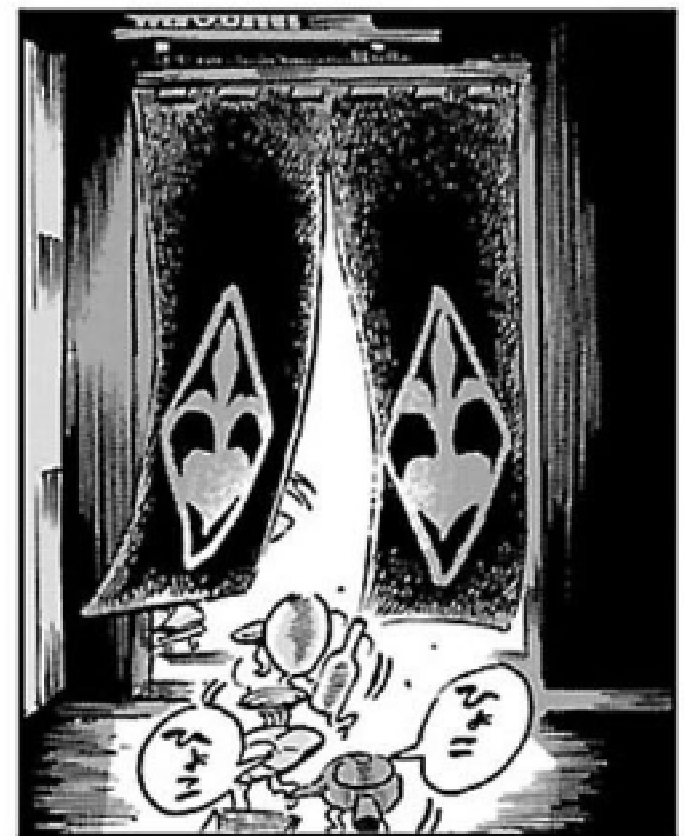

ヒラ


カラン
カラン
…


カタ
カタ


……
ぎっ
ぎっ


すっく
にょきっ


ひょこ
ひょこ


はっ
貴女は一体……







──狐火と誤認された百鬼夜行は

実は『百鬼夜行絵巻』が内容を充実させるために里の器物を妖怪化したものだった

この後も月に一回 満月の夜に見られたようだが頻度の低さからか噂になることもなかった

小鈴の持つ『百鬼夜行絵巻』はゆっくりと充実していくのであるが

おーっ

はたしてどうなることやら

ギシシシ

第五話 終



東方鈴奈庵
~Forbidden Scrollery.

妖怪おとぎ話

読み切り

――むかし
むかし…

證誠寺
というお寺に
陽気な和尚さんが
おりました

和尚さんは
大の音楽好きで

お経を唱えた後は
いつも三味線を
弾いて楽しんで
いました

特別出演／聖白蓮さん他



いつものように三味線を弾いてから眠りについたところ

何やら外が騒がしくて目が覚めました







そこにいたのは
なんと狸でした

太鼓だと思った音は
狸がお腹を叩いている音
だったのです

♪ポン
ポン♪

和尚さんは
大変驚いて
最初は追い出そうと
しましたが



すぐに
狸の音楽に
聴き惚れて
しまいます

あら…

そして
ついには和尚さんも
三味線を取り出して
狸の踊りに加わりました







次の日
和尚さんは今日も
狸たちが来ないか
楽しみに待っていました











ほろり

実際の幻想郷・命蓮寺とは何の関係もありません

——智略によって見事に妖怪狸を自滅させた和尚さんは〝狸殺しの和尚〟の異名を得て

そんなら

人間の里では英雄として語られるようになりました

めでたしめでたしっと

パタン


そろそろ日が沈むわよ
今日はお開きお開き！
ありがと～


またね！
……
KOSUZU


いつもこういう事しているのか？
？
證誠寺の狸囃子ってそんなオチだっけ？


クルッ
そうね
週に一回くらいは


本は貴重だから高くて買えない家の子も多いのよ…
せめて私が読み聞かせることで
妖怪から身を守る手段くらい身につけてもらおうと思って


まあ おとぎ話から学べることもあるしね
桃太郎からは鬼の退治法
田子もらったよ
!!
?
おーよしよし
かちかち山からは妖怪狸の退治法
さるかに合戦からは妖怪猿の退治法…
赤ずきんちゃんからは赤ずきんの退治法もな
だっけ？
それにしても小鈴がこんな慈善事業の真似事をしているなんてねぇ
正直言って心配してたんだけど…
…まあ一安心かな？


チリン
チリン

やってるかな？


いらっしゃいませー
あ あんたは！


あれ？
知り合いなの？


この人は妖怪です
知り合いというか
何というか…
妖怪と仲が良いの？


まあ 里で
博麗の巫女を
知らん奴は
おらんて


それより
今日は
買い取って
もらおうと
絵本を持って
きたんじゃ
ゴソ


あら
何かしら？
『分福茶釜』


分福茶釜


心優しい狸の
恩返しをテーマにした
ハートフル
おとぎ話じゃ


最近 子供たちが
狸を虐めて
いるよう
だからのう
少しは動物を
思いやる優しい心を
もった方が
良いかと思ってな



何
言ってる
のよ


妖怪狸も
妖怪よ？
子供たちが
さらわれたりしたら
どうしてくれるのよ


ねえ
小鈴ちゃん
こんな人の
言うこと
聞かなくても
いいからね！




……
…は




はい！
そうですね！
動物を
思いやる心は
大切だと
思います
今度から
『分福茶釜』も
レパートリーに
入れたいと思います
ずるっ


霊夢さん
お客さんに向かって
"こんな人"なんて
言わないでください


あ
う
うん

この『分福茶釜』は
儂が書いた
特別な本じゃ
分福茶釜
キラーン
さあ いくらで
買い取って
くれるかのう
――霊夢は
それは
妖怪絵本
だ！
と
言いかけて
やめた
マミゾウが
妖怪狸だとばらすと
騒ぎになるし
何より 妖怪と
仲が良いように
思われると
霊夢としては
不都合だった
からである
鈴奈庵には
こうして 妖怪本が
増えていくことも
あるようだ
子供たちに
読み聞かせて
いた時は
少し見直した
霊夢だったが
やれやれ
やっぱり
監視を続けようと
思うのだった
読み切り 終

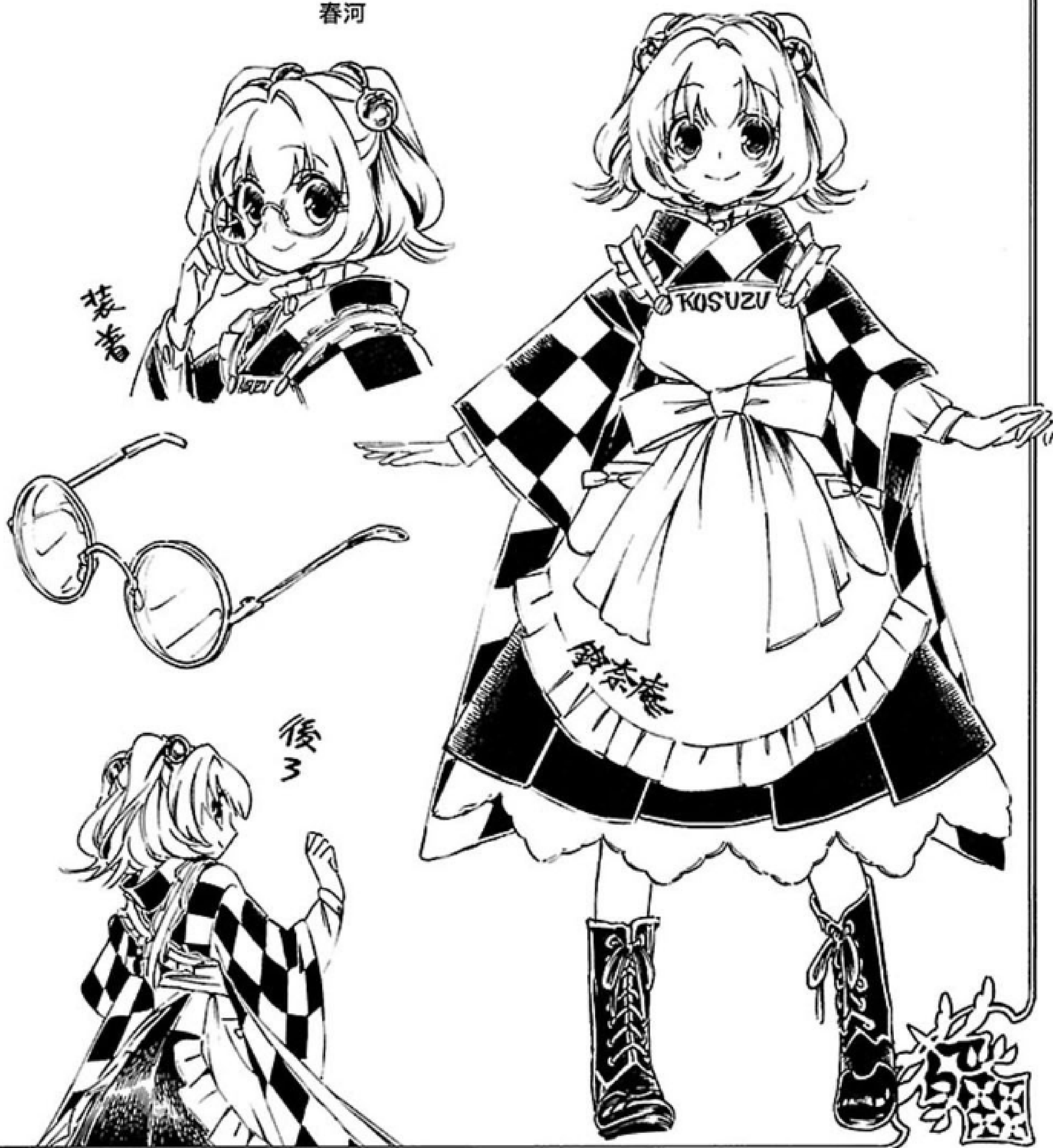
東方鈴奈庵
~Forbidden Scrollery.


設定資料集

判読眼のビブロフィリア
本居 小鈴

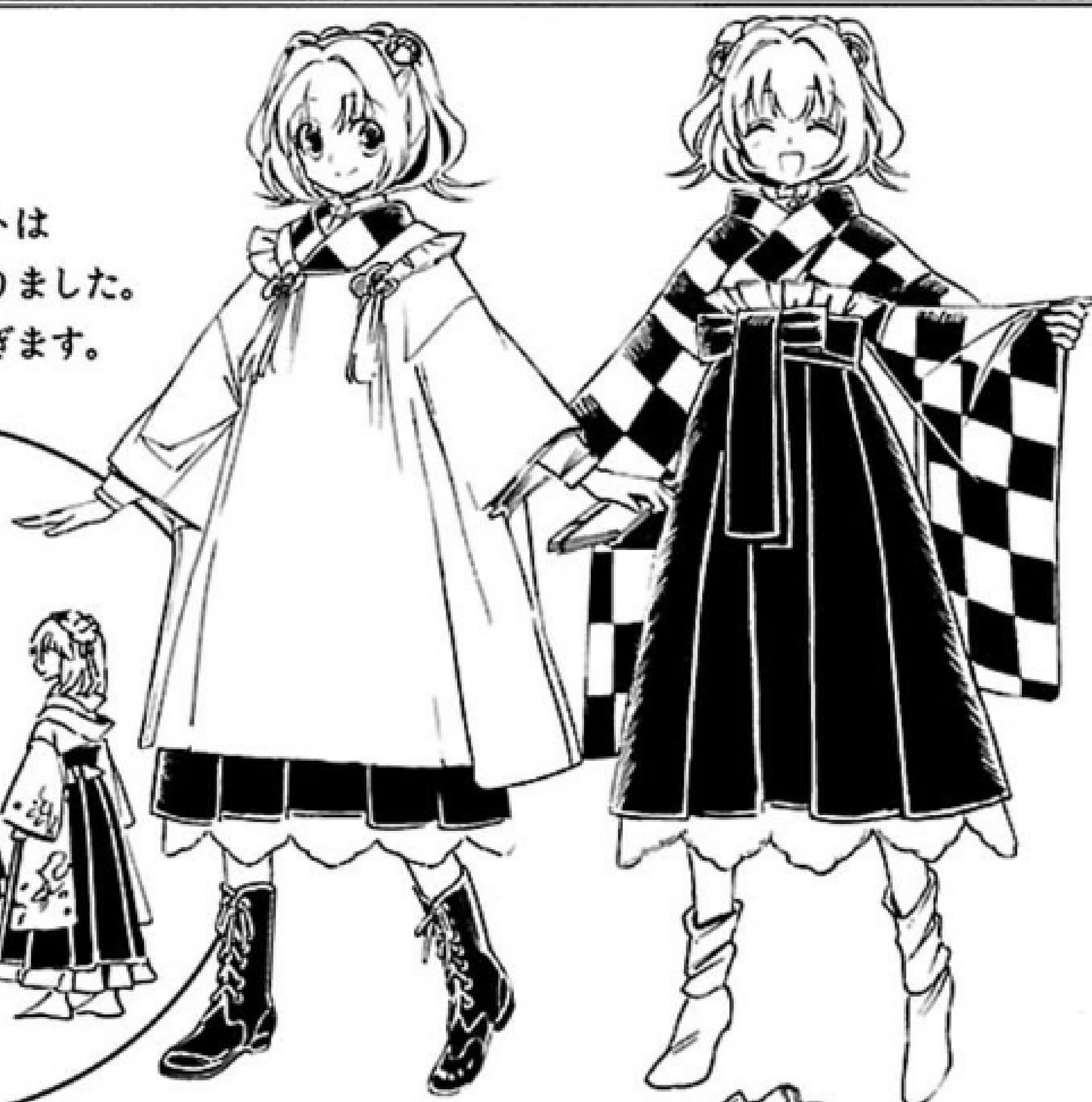
ページ数が少ないので穴埋めに
設定資料を設けようという話に
なったのですが、資料と呼べる
ようなしっかりした作画の指針を
決めていない事に気付きました。
走り書き程度の出来で恐縮ですが
お付き合い頂けると幸いです。

春河



小鈴のコートは
道行きになりました。
室内では脱ぎます。















鈴奈庵



楽園の素敵なシャーマン

博麗 霊夢














極めて普通のマジシャン

霧雨 魔理沙










霧雨魔法店

九代目のサヴァン

稗田 阿求







吸血鬼のメイド

十六夜 咲夜









捕らぬ狸のディスガイザー
二ツ岩 マミゾウ



ZUN

初めまして、ZUNです。
「東方三月精」が連載終了時に新連載の予告をしたのに、
連載開始まで少し間が空いてしまいましたが、
無事に単行本まで漕ぎ着けてほっとしています。

舞台が人間の里で、さらに人間メインの話は実は「東方」では
珍しいかと思います。
小鈴は霊夢や魔理沙と対等な立場でありつつ、
でも妖怪とは相容れない立場です。
これからどうなっていくのでしょうか？
きっといつも通りなんでしょうが……。

春河もえさんには、十分すぎるほどに小鈴を可愛く書いて頂
いていて大変満足しています。
性格の方は……霊夢達を困らせるようなちょっと一癖ある
キャラになりそうですが。

それではまた二巻か、コンプエースで会いましょう。

春河もえ

初めまして。
「東方鈴奈庵」の作画を担当する事になりました、
春河もえです。

新キャラクターの小鈴は、
頂いた白黒ラフを元に私の方で色パターンを数種類用意して、
打ち合わせで決定しました。

毎月お忙しい中プロットを書いてくださるZUNさん、
いつもサポートしてくださる担当さん、
そしてこの本を読んでくださった皆様、
本当にありがとうございます。

まだまだ若輩者ではありますが、
これからも日々精進していきたいと思います。

カドカワデジタルコミックス
東方鈴奈庵 ～ Forbidden Scrollery.（1）

原作：ZUN
漫画：春河もえ

2014年12月26日 発行

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
単行本コミックス『東方鈴奈庵 ～ Forbidden Scrollery.（1）』
2014年10月10日第10版発行

発行者　堀内大示
発行所　株式会社KADOKAWA
http://www.kadokawa.co.jp/

〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3
03-3238-8745（営業）
編集　角川書店
〒102-8078　東京都千代田区富士見1-8-19
03-3238-8719（編集部）

装幀・デザイン：On Graphics


KADOKAWA



幻想郷の人里にある貸本屋
「鈴奈庵」の店主の娘・本居小鈴は、
誰にも解読できない“妖魔本”のコレクターである。
ある日突然、彼女は能力に目覚め、
妖魔本を読むことができるようになる。それは同時に
幻想郷を妖怪の脅威にさらすことに
なるのであった…！

